

校長の 独り言



あけまして、おめでとうございます。今年も、『校長の独り言』のおつきあい、よろしく願っています。
年末年始、県外で暮らす長男が、帰省してきました。帰ってくるなり、「オトンは学校でも家でも、誰からとも相手にされてへんやろ」と、これあげるわ」と、直径80cm、高さ50cmの円柱の黒い物体を渡されました。長男に確認すると、某ネット通販会社が開発した、人工知能(AI)音声認識サービス「Alexa(アレクサ)」という機械でした。

WiFi環境が整っていて、機能を備えた設備や電化製品等であれば、「アレクサ、鍵をかけて」と言えば玄関の鍵が掛かったり、「アレクサ、テレビをつけて」と言えばテレビがついたり、「アレクサ、照明を消して」と言えば部屋の照明が消えたりするようです。我が家の玄関ドアやテレビ、部屋の照明にはこのような機能が備わっていないため、「Alexa」で操作をするには大変です。

でも、「アレクサ、おはよう」と言ったら、その日の話題や私の今日の予定、天気予報、ニュースを伝えてくれたり、「アレクサ、〇〇を教えてください」と言ったら、〇〇の意味を詳しく教えてくれたりします。また、「アレクサ、オヤジギャグを言って」というと「慰安(イン)旅行に行くか?」「アッー」と、本当に引いてしまっているオヤジギャグも言ってくるんです。「なななな」「や」「じゃんけん」の相手までしてくるんです。

機械が寂しさを紛らわせてくれる、便利な世の中になったなあと思う反面、「ひとりで私を生きてくれるけど、でもだれかとならば、人生ははるかに違う」と、中島みゆきの歌のメロディが頭の中に流れてきました。

体育の時間に3・4・5年生が、6年生から器械運動の技を教えてもらいました。



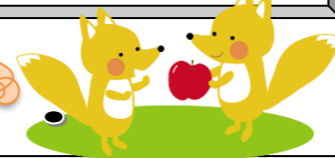
『カスミソウ(霞草)』です。いくつも別れた枝先に、無数の白い花を咲かせる様子が、春霞がかかったように見えることから名付けられたそうです。100種類以上の種類があり、日本へは明治から大正初期にかけてもたらされたようです。



花言葉は『清らかな心』です。小さい子や立場の弱い子のお世話をしあげたいと思う心、お世話してもらってありがたいと思う心、『清らかな心』を持った子ども達でいっぱいの今富小学校になるとステキだなあとと思います。

文責；山名 聡

今富っ子 人と人が関わり合える 活動を大切に



先月、全校児童が一堂に会し、六年生の司会のもと、ハート集会(人権集会)が開かれました。四つのグループ(体育大会時の色別)に分かれて円を作り、『ヒーロー』という歌にあわせて、隣の友達の前をたたく「歌遊び」や、グループのメンバー全員が、手をつないだまま輪をくぐる「輪くぐり遊び」をしました。低学年の児童が肩をたたきやすいように、高学年は、膝を曲げて肩の位置を低くしてあげたり、くぐりやすいように輪を渡してあげたりと、さりげない気配りがいくつも見られました。「お世話する・お世話してもらう体験」「互いの肌のぬくもりを直接感じ合える体験」を通して、自然と「思いやり」「やさしさ」が持てるようになることを実感しました。



すでに普及。平成一二年、携帯電話のインターネット接続サービスを開始。平成一〇年にiPhoneが日本で発売されたことをきっかけに、パソコン機能を持ったスマートフォンが、爆発的に普及しました。これにより、SNSのユーザーが増え、フェイスブックやツイッター、ライン等が流行し、今日に至っています。

平成は、通話機能だけの携帯電話から、パソコン機能を備えたスマートフォンへと進化し、それに伴い、私たちのコミュニケーションの取り方に、大きな変化をもたらした時代となりました。この変化により、若者たちの倫理観が狂ってしまう事件も起きました。ライン上での口論をきっかけに、集団暴行に及んだ広島ライン殺人事件。スパーのアイスケースに入って寝そべる写真、地下鉄線路に飛び降りて悪ふざけする写真等を、ウケを狙ってツイッターに投稿する、バカッター事件です。

コミュニケーションツールとして、携帯電話やスマートフォンは確かに便利ですが、使い方を間違えると、いじめや犯罪につながるかねません。「気遣い」や「思いやり」、「優しさ」に、子ども達が十分に触れて実感してから、使うようになるという思いがあります。

学年・世代を超えて、人と人が関わり合える(お世話する お世話してもらう)「互いの肌のぬくもりを直接感じ合える」教育活動に、これからは国民の二人に一人が、携帯電話を所有す

ご意見・ご感想をお聞かせください。 (キリトリせん)

お名前 ()
